



DOWNLOAD SITE CONSTRUCTION SYSTEM

ダウンロードサイト 構築システム

設置マニュアル

このたびは、ダウンロードサイト構築システムをご利用いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、主にシステムの設置について説明しています。

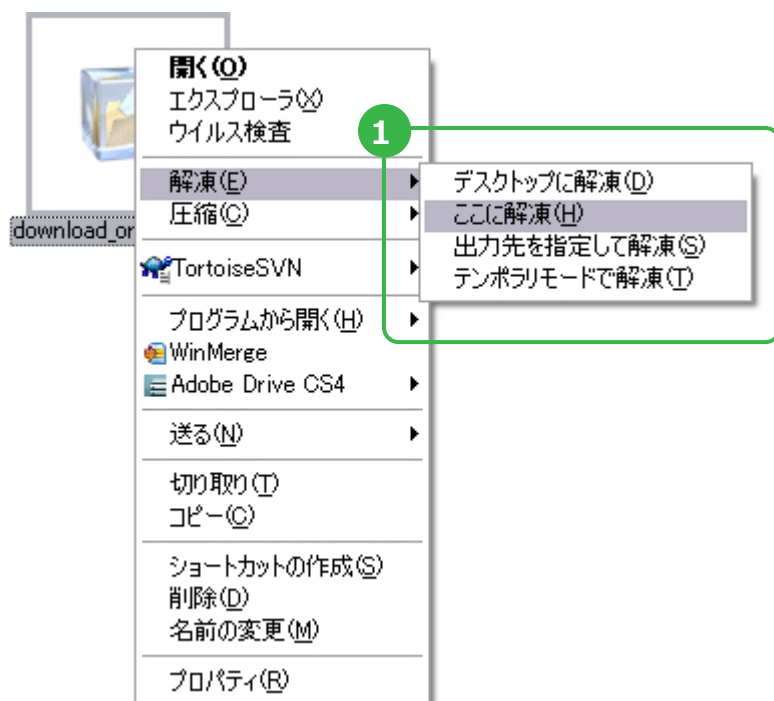
尚、内容はバージョンアップなどにより予告なく変更される場合があります。

1. インストール手順	3
1-1.圧縮ファイルの解凍	3
1-2.設定ファイルの編集	4
1-3.ファイルのアップロード	5
1-4.データベースの初期化	8
2.インストール後の設定手順	10
2-1.システム設置後の設定	11
2-2.管理画面へログイン	12
2-3.SSLの導入について	14
2-4.CRONの設定	15
3. その他	22
3-1.エラー対処方法	23
3-2.インフォメーション	23

1-1.圧縮ファイル(ZIP形式)を解凍

ダウンロードしたパッケージのZIPファイルを解凍ソフトで解凍します。

ZIPファイル名についている数字は製品のバージョンとなっています。



1 パッケージのZIPファイルを選択し、右クリックします。

「解凍」からファイルの解凍先を選択します。

1-2.設定ファイルを編集

設置先の環境に合わせて、各種設定ファイルを書き換えます。

データベースの設定ファイル「./custom/extends/sqlConf.php」をテキストエディタで開きます。

```
1 <?php
2
3
4 /**
5  ** SQL DATABASE 用 定義 **
6  **
7  */
8
9 $SQL_SERVER = true; // SQLを用いるかどうかのフラグ
10 // $SQL_PORT = 'localhost'; // SQLのサーバ
11
12 // SQLデーモンのクラス名
13 $SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
14 // $SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
15
16 $DB_NAME = 'download'; // DB名
17 $SQL_ID = 'download'; // 管理ユーザーID
18 $SQL_PASS = 'download'; // 管理ユーザーPASS
19
20 $TABLE_PREFIX = '';
21
22 $CONFIG_SQL_FILE_TYPES = Array('image', 'file');
23
24 //the 128 bit key value for crypting
25 $CONFIG_SQL_PASSWORD_KEY = 'adfasdfasdfsdf';
26
```

1 「\$SQL_SERVER='localhost'」は、サーバー側の設定に応じて変更してください。

2 「SQLデーモンのクラス名」より、データベースを選択します。

標準ではSQLiteが選択されており、そのままSQLiteをご利用される場合は本項2、及び3について設定を行う必要はありません。MySQLを選択する場合のみ以下の作業を行って下さい。

設定するデータベースの先頭にあるコメントアウト「//」を外します。

デフォルトでは『SQLite』に設定してありますので、先頭にコメントアウト「//」を記述して無効にします。

【初期設定】

```
$SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
// $SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
```



【変更後の設定】

```
// $SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
$SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
```

これで、「MySQLDatabase」データベースに変更されました。

3 データベースに応じて、データベース名、管理ユーザーID、管理ユーザーPASSを設定します。

【初期設定】

データベース名 : download

管理ユーザーID : download

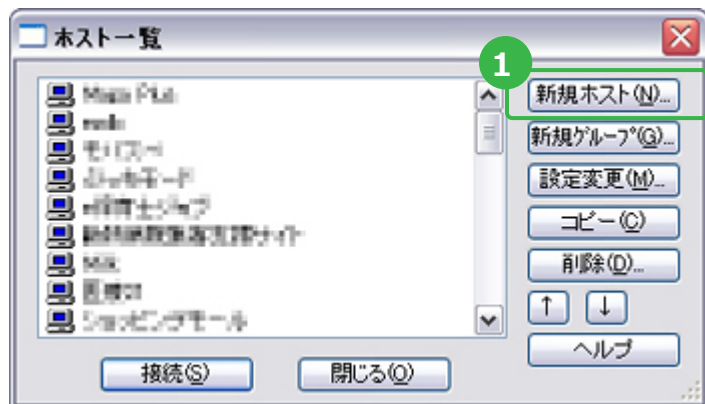
管理ユーザーPASS : download

※SQLiteに設定してある場合、ID、パスの設定は必要ありません

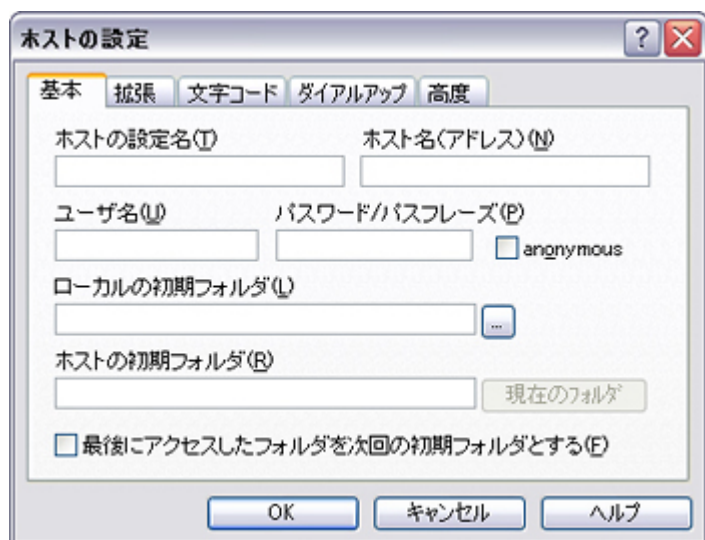
4 MySQLはパスワード保存の暗号化に対応しています。必要に応じて「暗号キー」を16桁の英数字で編集ください。

1-3.ファイルのアップロード（1）

FTPクライアントツールを利用し、パッケージファイルをサーバーにアップロードします。
フリーソフト「FFFTP」を使用してのアップロード方法を説明します。



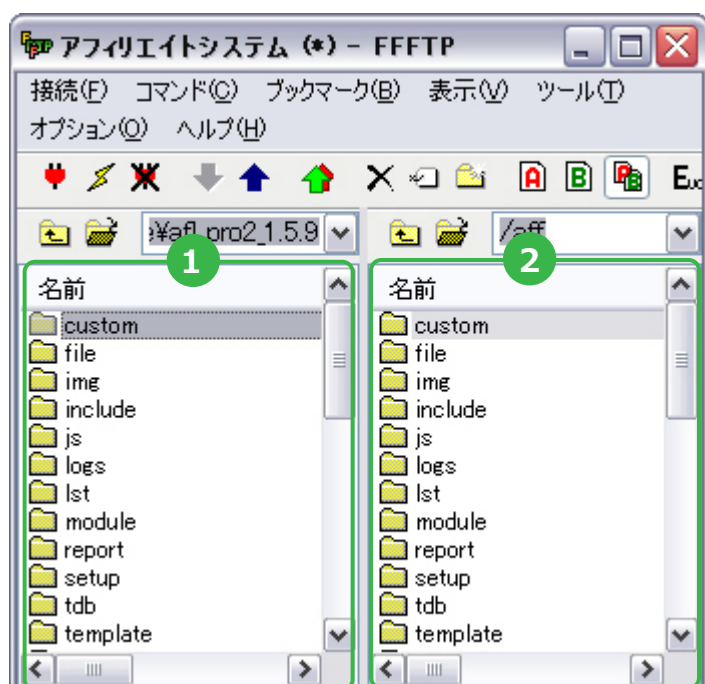
- 1 FFTPアイコンをクリックすると、ホスト一覧が表示されますので、右横にある「新規ホスト」をクリックします。



- 2 「ホストの設定」画面にあるインデックス「基本」より、FTPアカウントを入力し「OK」ボタンをクリックすると、FTPサーバーに接続されます。

※ローカルの初期フォルダ（ファイルの保存先）を設定しておくと、アップロード・ダウンロード時に便利です。

1-3.ファイルのアップロード (2)

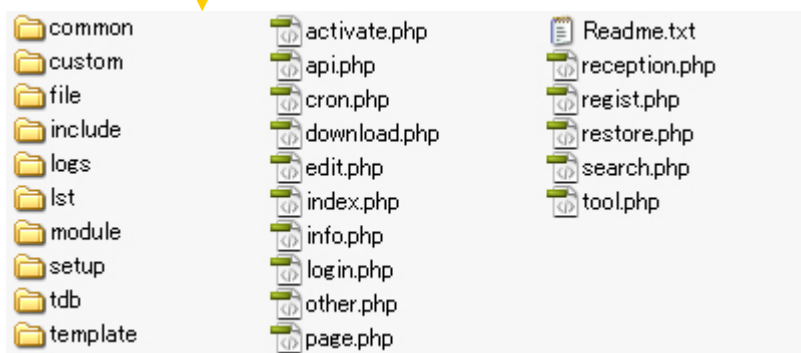


1 画面の左側は、ファイルの保存先が表示されます。

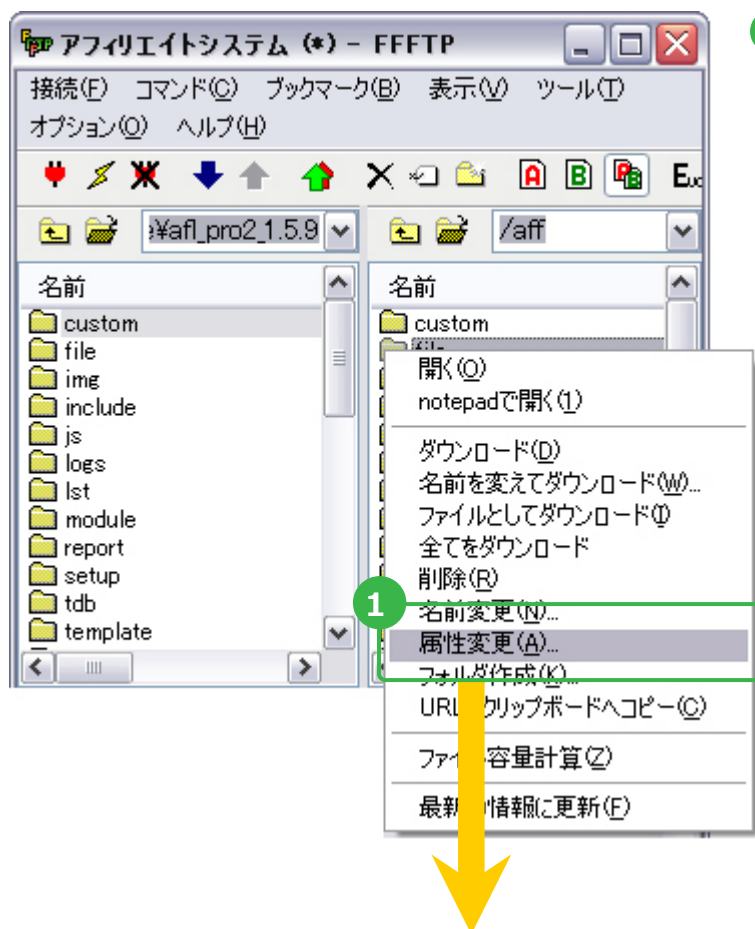
2 画面の右側は、FTPサーバーにアップロードされたファイルが表示されます。

保存先のファイルを全て選択し、ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードします。

アップロードするファイルの一覧です。

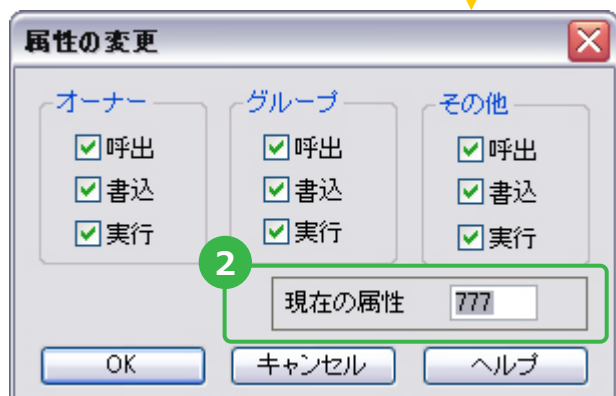


1-3.ファイルのアップロード (3)



- 1 画面の右側にあるアップロードされたファイルのパーミッションを変更します。

変更するファイルを選択し、右クリックで、「属性の変更」をクリックします。



- 2 「属性の変更」画面が表示されますので、「現在の属性」欄に下記の数字を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

./file/ →777

./file/以下にある全て →777

./logs/ →777

./logs/以下にある『*.log』全て →777

./tdb/ →777

./tdb/以下にある全て →777

./tdb/以下にある『*.csv』全て →777

1-4.データベースの初期化（1）

データベースの作成

システムが使用するデータベースを作成します。

データベースの作成は、設置環境によって異なりますので、サーバーのマニュアルを参照ください。

データベースの文字コードは、「sjis」を指定して下さい。

参考)

phpMyAdmin等から操作を行われる場合は「sjis_japanese_ci」をご指定ください。

ブラウザより「http://[設置先](#)/tool.php」にアクセスし、データベースの初期化を行います。



- 1 ログインフォームが表示されますので、初期設定パスワード「admin」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin

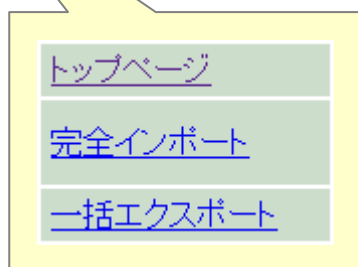
1-4.データベースの初期化（2）



- 1 ページの最下部にある「完全インポート」をクリックします。

※サーバーの状況により、非常に時間が掛かる場合があります。

※SQLiteご利用時は5分～15分以上かかる場合があります。



- 2 「http://[設置先](#)/index.php」にアクセスしてシステムのトップページが正常に表示されていればインストールの完了です。

※「tool.php」はご利用後、必ずサーバー上から削除して頂くようお願い致します。

※SQL導入後「./tdb/以下のデータ」等は削除して頂くか、パスワード設定を管理者様の責任で行って頂くようお願い致します。

2.インストール後の設定手順

ここからは、サイトを運営するにあたっての設定手順についての説明です。

- 2-1.システム設置後の設定
- 2-2.管理画面へログイン
- 2-3.SSLの導入について
- 2-4.CRONの設定

2-1. システム設置後の設定

ツールのログインパスワードを変更する

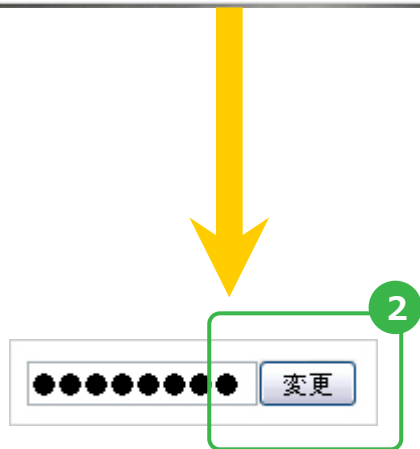
まずは、<http://設置先のURL/tool.php>にアクセスします。



デフォルトのパスワードを入力し、
「**ログイン**」ボタンをクリックすると、操作画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin



① ページの下部にある「**パスワード変更**」をクリックします。

② 新しいパスワードを入力し、「**変更**」ボタンをクリックして、「**変更しました**」と表示されたら完了です。

! POINT

tool.phpは、データベースを操作する為の重要なプログラムです。

上記に従いパスワードを変更するか、御利用後は削除するかいずれかを必ず行うようお願い致します。

2-2.管理画面へログイン（1）

管理画面へログインする

まずは、<http://設置先のURL/login.php?type=admin>にアクセスします。

Download System ダウンロードシステム

→ HOME → 商品の一覧

ログインフォーム

メールアドレス	<input type="text" value="admin@example.com"/>
パスワード	<input type="password" value="●●●●●"/>
<div>1 <input type="button" value="ログイン"/></div>	

- 1 メールアドレスとパスワードを入力し、「**ログイン**」ボタンをクリックすると、管理画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

メールアドレス : admin@example.com

パスワード : admin

2-2.管理画面へログイン（2）

ログインアカウントの設定

管理画面にログイン後、必ずログインアカウントを変更してください。

安全にご利用いただくためにも、定期的にパスワードを変更することをお薦めします。



Download System ダウンロードシステム

ホーム ユーザーの一覧 商品の一覧 カテゴリの一覧 注文の一覧

お知らせ

- 現在販売されている商品は 12 件です
- 未確認の商品が 3 件あります
- 注目ユーザー 販売や返品商品が 3 件あります
- 未入金の注文が 100 件あります

売上集計表

	今月	先月	累計
総売上	0円	25,450円	10,000,000円
手数料	0円	8,500円	3,000,700円
消費税	0円	1,340円	664,200円
販売価格	0円	36,810円	13,664,700円

手続状況確認

ユーザー情報

状態	ユーザー	説明
正常登録	12人	ユーザーの正常登録
販売済	4人	全販売済ユーザーに記録されているが未ログイン
利用中	12人	サービスを利用可能なユーザー
利用不可	0人	サービスを利用できないユーザー

商品情報

状態	商品	説明
正常登録	10	商品の正常登録
未確認	8	販売済可能ながまだ未確認の商品
一時的公開	12	販売中の商品
購入者のみ	2	販売を終了し購入者のみでダウンロード可能な商品
不可	0	販売不可の商品

1 管理メニュー「**ログイン情報の変更**」をクリックします。



パスワードの設定

管理情報

メールアドレス **【変更時に入力】** admin@sample.co.jp

パスワード **【変更時に入力】**

パスワード(確認用) **【変更時に入力】**

確認する

2 メールアドレスとパスワードを変更します。

2-3.SSLの導入について

SSLを導入して頂く場合、下記の設定ファイルを変更してください。

SSLの設定ファイル「./custom/extends/sslConf.php」をテキストエディタで開きます。



- 1 「SSLへのリダイレクトを有効に」より、設定を変更します。

※デフォルトでは「\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;」に設定されています。

「false」を「true」に変更してください。

【初期設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;

【変更後の設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = true;

これで、「SSLの導入」への設定が完了です。

2-4.CRONの設定（1）

時刻、日付、月、曜日を指定することで定期的に繰り返し実行されるタスクが設定できます。

※CRONが利用可能・不可能、設定方法などは、ご利用になられているサーバーにてご確認ください。

! POINT

■ ordersCancel 毎日

→ 注文から1週間が経過しても入金が行われていない注文を削除します。

■ issue 毎月1日 ※ASPの場合設定

→ 先月までの売上がシステム設定の最低支払い額を超えている販売者への支払情報を一括作成します。

■ パーミッションの変更 → cron.php 755

■ コマンドの設定

<phpのコマンドパス> <cron.phpのファイルパス> ordersCancel

<phpのコマンドパス> <cron.phpのファイルパス> issue

例) /usr/local/bin/php /var/www/html/cron.php ordersCancel
/usr/local/bin/php /var/www/html/cron.php issue

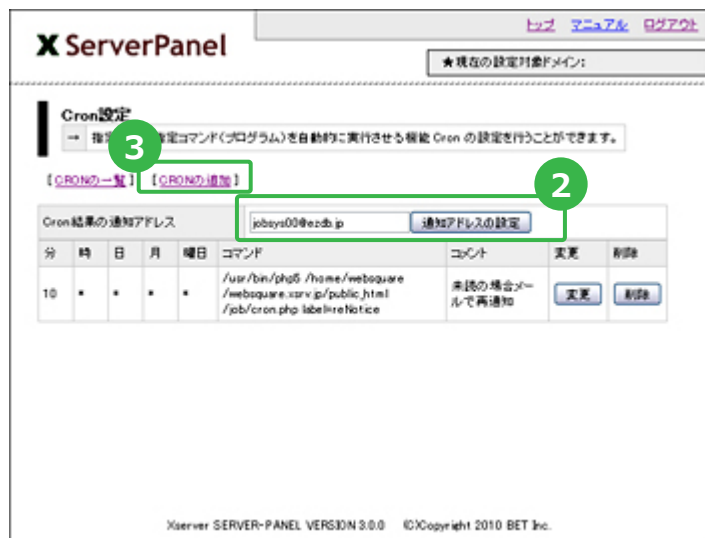
2-4.CRONの設定（2）

X-SERVERでのCRON設定

X-SERVERのインフォパネルにログインします。プランのサーバー情報より「サーバーパネル」にログインします。



- 1 メニュー「HOME PAGE」から「Cron設定」をクリックすると、Cronの一覧が表示されます。



- 2 Cron結果の通知アドレスを設定します。
- 3 「Cronの追加」をクリックすると、追加フォームが表示されます。

2-4.CRONの設定（3）

■ ordersCancel

ServerPanel

[トップ](#) [マニュアル](#) [ログアウト](#)

★現在の設定対象ドメイン:

Cron設定

→ 指定時間に指定コマンド(プログラム)を自動的に実行させる機能 Cron の設定を行うことができます。

[【CRONの一覧】](#) [【CRONの追加】](#)

分	<input type="text" value="*/"/>
時間	<input type="text" value="10"/>
日	<input type="text" value="*/"/>
月	<input type="text" value="*/"/>
曜日	<input type="text" value="*/"/>
コマンド	<input type="text" value="/usr/bin/php5 /home/サーバID/設定ドメイン/public_html/cron.php ordersCancel"/>
コメント	<input type="text" value="*/"/>

CRONの追加

1 通知する日時を指定します。※下記は、目安の指定となります。

→ (分) 0 (時間) 3 (日) * (月) * (曜日) *

2 /usr/bin/php5 /home/サーバID/設定ドメイン/public_html/cron.php ordersCancel

例) 【サーバID】 websquare 【設定ドメイン】 websquare.xsrv.jpの場合

/usr/bin/php5 /home/websquare/websquare.xsrv.jp/public_html/cron.php ordersCancel

※コマンドのcron.phpの位置は、トップディレクトリに設置した場合です。

※下位に設置した場合は、.public_html/フォルダ名/cron.php ordersCancelとなります。

3 ボタン「CRONの追加」をクリックすると、確認画面が表示されます。

2-4.CRONの設定（4）

■ issue ※ASPの場合設定

ServerPanel

[トップ](#) [マニュアル](#) [ログアウト](#)

★現在の設定対象ドメイン:

Cron設定

→ 指定時間に指定コマンド(プログラム)を自動的に実行させる機能 Cron の設定を行うことができます。

[【CRONの一覧】](#) [【CRONの追加】](#)

分	<input type="text" value="*/"/>
時間	<input type="text" value="10"/>
日	<input type="text" value="*/"/>
月	<input type="text" value="*/"/>
曜日	<input type="text" value="*/"/>
コマンド	<input type="text" value="/usr/bin/php5 /home/サーバID/設定ドメイン/public_html/cron.php issue"/>
コメント	<input type="text" value="*/"/>

CRONの追加

1 通知する日時を指定します。※下記は、目安の指定となります。

→ (分) 0 (時間) 2 (日) 1 (月) * (曜日) *

2 /usr/bin/php5 /home/サーバID/設定ドメイン/public_html/cron.php issue

例) 【サーバID】 websquare 【設定ドメイン】 websquare.xsrv.jpの場合

/usr/bin/php5 /home/websquare/websquare.xsrv.jp/public_html/cron.php issue

※コマンドのcron.phpの位置は、トップディレクトリに設置した場合です。

※下位に設置した場合は、.public_html/フォルダ名/cron.php issueとなります。

3 ボタン「CRONの追加」をクリックすると、確認画面が表示されます。

2-4.CRONの設定（5）

SAKURAでのCRON設定

SAKURAのインフォパネルにログインします。契約情報より「**契約サービスの確認**」をクリックします。
レンタルサーバー情報から「**サーバー設定**」をクリックすると、コントロールパネルが表示されます。



- 1 メニュー「**サーバツールの設定**」から「**Cron設定**」をクリックすると、Cronの一覧が表示されます。

CRONの設定

CRON機能は【上級者向け】です。
CRONの設定を誤った場合、思わぬ負荷をサーバに与えることになります。
必要がなければ変更しないでください。

指定された日時にプログラムを実行するCRON機能の設定です。

>> [FreeBSD 日本語マニュアル\(crontab\)](#)

- 2 「**新規項目の追加**」をクリックすると、追加フォームが表示されます。

※sakuraは通知先の設定がありません。
エラーが発生した場合のみ「postmaster@ドメイン名」に送信されます。

* CRON 設定一覧 *

実行コマンド	実行日時					コメント
	月	日	時	分	曜日	
<code>/usr/local/bin/php /home/websquare/www/job /cron.php label=ReNotice</code>	毎月	毎日	毎時	5分毎	日月火水木金土	

2 >> [新規項目の追加](#)

2-4.CRONの設定（6）

■ ordersCancel

* CRON スケジュール設定 *

1	
実行コマンド	<input type="text" value="i/php /home/<アカウント>/www/cron.php label=reNotice"/> <small>コマンドの標準出力を postmaster へ送りたくない場合、コマンドの後に 1> /dev/null を加えてください。</small>
2	
実行日時	月 <input type="text" value="*"/>
	日 <input type="text" value="*"/>
	時 <input type="text" value="*"/>
	分 <input type="text" value="*/10"/>
	曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土
<div>(1) 毎時(1時,2時,3時...)実行したい場合 * を指定してください。 (2) 指定した時間おきに実行したい場合 */5 といったように、アスタリスクと数字を、スラッシュ区切りで指定してください。この例の場合は、時のところに記述すると5時間毎に実行されることを意味します。 (3) 指定した時間に実行したい場合 そのまま数字を記入してください。カンマ区切りで複数の時間を指定することもできます。</div>	
コメント	<input type="text"/>
3	
<div>送信 削除</div>	

1 /usr/local/bin/php /home/**アカウント**/www/cron.php ordersCancel

例) 【アカウント】 websquare

/usr/local/bin/php /home/**websquare**/www/cron.php ordersCancel

※コマンドのcron.phpの位置は、トップディレクトリに設置した場合です。

※下位に設置した場合は.. websquare/www/**フォルダ名**/cron.php ordersCancelとなります。

2 通知する日時を指定します。※下記は、目安の指定となります。

→ (月) * (日) * (時) 3 (分) 0 (曜日) 日月火水木金土

3 ボタン「送信」をクリックすると、設定の完了です。

2-4.CRONの設定（7）

■ issue ※ASPの場合設定

*** CRON スケジュール設定 ***

実行コマンド	<div>1</div> <input type="text" value="/usr/local/bin/php /home/<アカウント>/www/cron.php label=reNotice"/> <small>コマンドの標準出力を postmaster へ送りたい場合、コマンドの後に 1> /dev/null を加えてください。</small>				
実行日時	月	<div>2</div> <input type="text" value="*"/>	<div>(1) 毎時(1時,2時,3時...)実行したい場合 * を指定してください。 (2) 指定した時間おきに実行したい場合 */5 といったように、アスタリスクと数字を、スラッシュ区切りで指定してください。この例の場合は、時のところに記述すると5時間毎に実行されることを意味します。 (3) 指定した時間に実行したい場合 そのまま数字を記入してください。カンマ区切りで複数の時間を指定することもできます。</div>		
	日	<input type="text" value="*"/>			
	時	<input type="text" value="*"/>			
	分	<input type="text" value="*/10"/>			
	曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土			
コメント	<div>3</div> <input type="text"/>				
<div>送信 削除</div>					

1 通知する日時を指定します。※下記は、目安の指定となります。

→ (月) * (日) 1 (時) 2 (分) 0 (曜日) 日月火水木金土

2 /usr/local/bin/php /home/**アカウント**/www/cron.php issue

例) 【アカウント】 websquare

/usr/local/bin/php /home/**websquare**/www/cron.php issue

※コマンドのcron.phpの位置は、トップディレクトリに設置した場合です。

※下位に設置した場合は.. websquare/www/**フォルダ名**/cron.php issueとなります。

3 ボタン「**送信**」をクリックすると、設定の完了です。

3.その他

その他、インフォメーションです。

3-1.エラー対処方法

3-2.インフォメーション

3.その他

3-1.エラー対処方法

Parse error:syntax error, unexpected T_OBJECT_OPERATOR in
./include/ccProc.php on line 592

A 上記のようなエラーが出た場合、お使いのPHPバージョンが5ではない可能性があります。
PHP 5が利用可能なサーバーに移転をお願い致します。

3-2.インフォメーション

<パッケージサイト>

[ダウンロードサイト構築システム](#)

<アップデートについて>

<http://www.websquare.co.jp/update.html>

<アップデート手順>

http://www.websquare.co.jp/update_flow.html